



謎の超笑力をもつ大魔王が、あなたに贈る不思議なムダ話

発行：トラベル・ミトラ・ジャパン (E-mail : daimao@travelmitra.jp)

ぼん子画

(570-0041) 大阪市北区天神橋 1-18-25 第3マツイ・ビル 201 TEL : 06-6354-3011

## 「われら高年期探検隊」

われらはインダス文明古代遺跡探検隊を結成した。なんと、わが輩は二番目に若い。この探検隊が  
いかに高年期かが推察できるであろう。しかも、個性の塊のような隊員ばかりである。

探検といえば、ヘルメット姿のいわゆる探検隊衣装を想像するであろう。いや、するよ。しかしな  
がら、わが隊員（男性）は着物姿で空港に現れた。これをもってしても、われがいかに個性的であ  
るか想像できるであろう。

個性に高齢頑固性が加わったら、いったいどうなると思う。読者諸氏よ。

わが輩は隊長とは名ばかりで、大先輩たちの間で右往左往するばかりである。

旅は道連れ世は情け、と昔の人は言ったものだが、われら隊員はけっこう人情に厚い。それ故に、  
さまざまな出会いが、インドの神さまによってすでに用意されていた。

関空ですれちがったのは黄衣をまとったインド人であった。

わが輩が「こんにちは」と声をかけたものの、彼は怪訝な顔をしている。それもそのはずで会った  
ことがないからである。しかし、わが輩は会ったことがある。岡山駅で声を掛けようとおもったがで  
きなかつた。彼は反対側のホームを歩いていたからである。

わが輩は彼のことを情報としてもっていた。彼の名前はボディーダンマ（菩提達磨）という。妙心  
寺派の禅寺で修行して約三十年になる。青年時代にカースト差別に悩みアンベードカル博士  
(1891-1956) の思想に共鳴し大学卒業後に仏教僧になった。現在はインド日本を行き来し南インド  
で仏教改宗運動にとりくんでいる。今年（2016年）8月に臨済禅道場を開堂する。

インド航空は香港に着陸するが、乗客は機内待機になる。これを好機に彼に話しかけた。彼の仏教  
観、今後の方針などを聞くことができた。共通の古い知人がいることが判明し親密度がました。

さて、インド航空はデリー空港で便名は変わらないが機材が変更になる。デリー・ムンバイ間の機  
材は若干小さくなる。

隣の席に座っていた女性が日本語で話しかけてきた。わが輩の胸につけたガネーシャ印のバッジを  
見て興味をもったようなのである。名刺交換すると、

「十数年前に、ラージャスターン州であなたにお会いしましたね」

と言うではないか。わが輩の記憶の車輪が空回りし始めた。なにせ十数年前では、わが輩の記憶も  
薄れている。しかも一瞬の出会いであった。そのころ彼女はプネー大学の学生で日本語はできなかつ

たが日本に興味を持っていた。それでわが輩の名刺を欲しがった。

再度車輪を回すと、ぼんやりと記憶が浮き上がってきた。(ひょっとしたら、記憶を創作したのかもしれないが・・・) 湖の街ウダイプルで、名刺を悪用されないか案じながら渡した記憶がある、あるかもしれない。

話がはずんでくると、彼女の隣席の男性が日本語で話しかけてきた。同じく名刺交換して驚いた。わが輩は以前から彼の名前を知っていた。数年前に来日したとき、彼の歓迎会が東京であり、わが輩も出席したいと願ったが叶わなかった。

彼もプネー出身である。明日行く予定のヨーガ研究所と御縁のある人である。

ところで、なぜ彼らは日本を訪問していたのか。

和歌山県とマハーラーシュトラ州は姉妹都市である。州政府の訪問団の通訳として来日していた。和歌山といえば高野山だが、県庁の肝いりで仏教改宗運動の指導者アンベードカル博士像が高野山大学に建立された。

この建立に関してはすったもんだがあった。当初奥之院に建てる案もあった。しかし十数メートルの巨大な像では弘法大師像よりも高いものになる。(それじゃ、困るよ)

そもそも何故高野山に建立しなければならないのか。(これもよく分からないね)

ある宗教学者にこの話をしたら、憤慨して

「立てるのなら、ガンディー像だよ」

と、仰った。

奥之院ではなく高野山大学にどのような経緯で決まったのか分からないが、昨年(2015年)に建立された。

彼らを高野山で案内したのは、わが輩がよく知る大学の関係者であった。またまた話がはずんだ。正に「旅は道連れ」である。

ムンバイに着いたのは1時間遅れの午前2時(日本時間:午前5時30分)であった。関空を出発して16時間ほど経過している。ホテルに入ってベッドの横たわったのは午前4時である。若者でも疲れる長旅は、高年期隊員にとって過酷であったに違いない。

疲れはイライラの原因である。日頃は紳士淑女でもこの病に冒されると自我意識が強くなり、ひいては下痢を併発する。この特効薬は、とにかく眠ることゆっくりすることである。

そこでわが輩は考えた。ムンバイの近くでゆっくりすることが一番だと。その候補地がデカン高原の避暑地である。

はたして隊員の疲れは癒されるであろうか。不沈戦艦「大魔王船」も疲れたけど大丈夫?